

## きりたんぽラウンド in Akita (ZoomVer) の報告

R03. 2. 21

秋田県事務局

今回の「きりたんぽラウンド」は、コロナ禍の状況を踏まえてWebによる開催方式としました。当日は、全国各地から13名の参加者が、自宅やリモート専用個室等から自由に集い、次の内容についての研修を深めることができました。

Webによる開催は、初めての試みでしたが、ラウンドの目的にある「学校体育の充実に向けた熱い語り合い」が行われました。

### 1 トピックス「主体的に学習に取り組む態度」の評価について 日本女子体育大学 教授 高橋修一先生

#### 【概要】

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、運動に関する領域では、学習指導要領に示された内容について、指導し評価することが求められています。

指導と評価に当たっての留意点として、次のことについて、具体例を交えながら説明していただきました。

- ・態度に関する内容を指導し評価する場面を設定すること
- ・その際、学習指導要領解説に示されている「なぜそれが大切なのか」という意義などを理解させることが必要であること
- ・「指導する時間」「育む時間」「評価する時間」のように形成的な評価の観点で子どもの学習の様相をしっかりと見取ること
- ・努力を要する状況の子どもに対する指導方法を工夫すること

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、評価規準を具体的に設定する際に、子どもの学びの実現状況を的確に判断する目安等を指導者がもてるかが重要であることを確認することができました。そして、そのことが「見えにくいものをいかに見取るか」のポイントにつながるということについても学ばせていただきました。



### 2 フリートーク「今後の体育・保健体育授業について」

「感染症対策と学習活動の両立」や「運動が苦手な児童に対する手立て」「学校で発生しやすい子どもの事故等」など、参加者の事前質問への解決策について、佐藤豊先生をはじめ、参加者の皆様から事例等を情報提供していただき、次の日からの学校や授業が待ち遠しくなるようなフリートークができました。

### 3 まとめ

#### 桐蔭横浜大学 教授 佐藤豊先生

佐藤先生からは、まとめとして、態度に関する指導においては、「なぜそれが大切なのか」という意義を理解させるための鍵となるのが体験を伴った学習であること、また、子どもの怪我等における事故防止については、体育のユニバーサル・デザイン的な視点から見た授業の工夫や「1単位時間一単元一年間指導計画」といった流れで、体育学習をマネジメントする力が重要であることなどについて、具体的な資料等を基に解説していただきました。さらに、コロナ禍における体育学習の在り方について、今後発表される最新の映像資料も紹介していただきました。

話題提供、フリートークからまとめまで、佐藤先生・高橋先生からの巧みなリードのお陰で、参加者同士の繋がりをもてるラウンドになりました。また、初めての試みとなったweb開催そのものの意味についても理解することができました。

佐藤先生、高橋先生、梶先生、そして御参加いただいた皆様方ありがとうございました。

来年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、全国の皆さんとお会いし、語り合えることを楽しみにしています。【事務局】